

2019年度 専門学校ESPエンタテインメント東京
学校関係者評価 報告書

評価対象期間 自：2019年4月 1日
至：2020年3月31日

2020年3月
学校関係者評価委員会

学校関係者評価委員名簿

学校関係者評価委員として、卒業生、関係業界、関係団体、本校と直接接統する学校、在校生保護者、地域（近隣）企業に委嘱した。

本学園評議員		鴻井 洋一
音楽アーティスト科	音楽プロデューサー	柘植 敏道 様
音楽芸能スタッフ科	株式会社サンフォニックス	皆川 直和 様
楽器 技術科	ギタークラフト科2年制	株式会社イー・エス・ピー
	管楽器リペア科	合同会社 Klang 横澤管楽器工房
	ピアノ調律科	一般社団法人ピアノ調律師協会
高校、日本語学校等		新宿日本語学校
近隣商工会、町内会、企業等		株式会社竹宝商会
学園卒業生		株式会社イー・エス・ピー
在校生保護者		長谷川 景子 様

学校関係者評価委員会の実施状況

学校関係者評価委員会実施日時・場所

日時：2020年3月19日（木） 14:00 から

場所：専門学校E S Pエンタテインメント東京 会議室

評価方法

学校関係者評価委員の方々に、学校関係者評価の概要や私立専門学校等評価研究機構が策定した学校評価基準 Ver.4.0（専門学校における学校評価ガイドラインに準拠）の評価項目および学校自己評価報告書を事前にお示しし、2019年度学校自己評価報告書の項目に沿って評価シートを作成し、評価シートへご記入いただく形式でご質問、ご意見をいただいた。

報告書

いただいたご意見等を副校長以下職員で組織する学校評価委員会で承り、要旨を本報告書にとりまとめた。

学校関係者評価委員会 進行状況

開始 14:00～

- ① 開会・資料確認
- ② 委員長あいさつ
- ③ 出席教職員の紹介
- ④ 評価委員の紹介
- ⑤ 自己評価報告書についての説明
- ⑥ ⑤について不明点など質疑
- ⑦ 評価シート記入
- ⑧ 次回開催の確認
- ⑨ 閉会

今後の取り組み

ご意見は、次年度以降の教育計画、教育課程編成、事業計画、施設・設備計画などを立案する際、十分に考慮し、可能な項目より実現に向けて取り組む。また、学校評価事業は毎年度、継続していく。

点検項目

大項目	I 教育理念・目的・育成人材像		
自己評価に対する評価		適切…9/9	不適切…0/9
中項目	1-1. 理念・目的・育成人材像		

ご意見

- ・教育活動・環境・支援内容が理念・育成人材像に沿っていると感じました。
- ・「誰もが光る原石」であるという信念に感銘できる。
- ・時代の変化に合わせて理念のバージョンアップ。柔軟な校風と感じました。
- ・専門知識はもちろんのこと、人間育成も社会に出てからは大事だと思います。
- ・卒業生のスタッフが多い気がする。

ご質問

- ・E S Pの意味ですが、Expanding Student Potential と、Electric Sound Products パンフレットに両方記載がありますが、どちらでしょうか？両方？
- 教育の理念を今年度見直し、当法人の設置する各専門学校の名称であるE S Pは【Expanding Student Potential】を略したものとしております。【Electric Sound Products】は株式会社イー・エス・ピーを意味しております。

大項目	Ⅱ 学校運営		
自己評価に対する評価		適切…9/9	不適切…0/9
中項目	2-2. 運営方針 2-3. 事業計画 2-4. 運営組織 2-5. 人事・給与制度 2-6. 意思決定システム 2-7. 情報システム		

自己評価に対する評価 適切…9/9 不適切…0/9

ご意見

- ・全体を通して、重点目標である教育無償化に向けて、各種規程等を整える等、計画的に取り組まれている様に感じます。
- ・常に新しいものへの適切に対処できる設備等を整える努力を惜しまないでほしい。
- ・卒業生との対話から感じますに、理念や運営方針に沿った人格が形成されている。

- ・留学生の語学能力についてですが、日本語専門学校等に依頼をして、1～3か月勉強後に入学許可を出すなどの一定の能力が必要だと思います。
- ・音楽や音楽ビジネスの技術だけでなく、考え方、精神性も育てるのも良いかもしれません。

ご質問

- ・寄付はどのように集めていますか？

→現在のところ、当校は寄付を募ってはおりません。今後体制が整い次第募集する計画はございます。

大項目	Ⅲ 教育活動	
自己評価に対する評価	適切…9/9	不適切…0/9
中項目	3-8. 目標設定 3-9. 教育方法・評価等 3-10. 成績評価・単位認定 3-11. 資格・免許の取得の指導体制 3-12. 教員・教員組織	

ご意見

- ・学生アンケートや外部の意見が今後教育課程編成委員会にどう反映されていくのか、興味深いです。
- ・社会人としての教育は重要であると思います。採用する企業は、技術的知識はもちろん、良い人材を必要としています。コミュニケーション能力（確りと会話ができる、挨拶）是非力を入れて欲しい。
- ・教育カリキュラム、教員の質の向上を図ろうとする意欲が大変感じることが出来る。実際に、より向上できるよう実現いただきたい。
- ・教育課程編成委員会の新設など、トレンドに敏感な取り組み姿勢を評価。GPA制度のパンフレット記載も保護者への安心につながる。
- ・自分も在学中にイベントなど参加していたことが役に立っていると思いますので、今後も続けていってほしいと思います。“サマソニ”やFUJIロックへの参加は音楽をあまり知らない方にも少なからず認知されていると思うので、説得力があると思います。
- ・成績について、技術者の意見・評価もあると良い。一般教養のカリキュラムは学校全体で統一してほしい。
- ・個人の魅力（技術以外）も評価してあげて欲しいです。
- ・スタッフ科、現場を経験が積めることはとても良いと思う。7月、11月に教育課程編成委員会があるとの事だが、来年度も是非本学園主催イベントは行っていただきたい。学園主催イベント、ドリームキャッチャー、年度末に行われるコンテスト等も続けて欲しいです。→目標となるため。小人数制のため、この学校を選んだ。レベル別のクラス分けも評

価できる。

ご質問

- ・最新の音楽とは？具体的にどこを目指しているのか。

→技術は日進月歩であり、その時代で学生が学びたい、または業界で必要とされるスキルについても日々変わっていく。教える内容が古い、または業界では既に縮小傾向にある仕事への授業とならない様、常にアンテナを張っていなければならない。

音楽についても、楽器を演奏するだけでなく、今日ではP Cを使用した演奏、映像やパフォーマンスに合わせたもの、特殊な機材を使った音作り等、現在では多岐に渡ることから、そういった技術を教授出来るよう体制整備に努めていく所存です。

大項目	IV 学習成果	
自己評価に対する評価	適切…8/9	不適切…1/9
中項目	4-13. 就職率 4-14. 資格・免許の取得率 4-15. 卒業生の社会的評価	

ご意見

- ・社会人として基礎を築く、という教育をどう行っていくのか、興味深いです。
- ・卒業生に対する中途採用、アルバイトの紹介サポートを行ってほしいと感じます（業界全体がスタッフ不足しています）
- ・楽器技術科2年制ピアノコース（ピアノ調律科）だけで考えた場合、ピアノ技能検定試験の難易度が高いとの事。他の教育機関では卒業と同時に取得レベルにあるので、そのレベルは上げていきたいと感じる。
- ・技術系の就職率は高い。楽器販売スタッフや営業職への就職も多い印象。
- ・学校で学んだことを活かしていくことはもちろんですが、仕事として取り組まなければいけないので、常識・マナーを教えていく事も大事だと思います。業種に限らずですが、人と接する機会も多いですし、最終的には人間性で選ばれるので…。ギタークラフト、リペアに何か資格があると良いです。
- ・ESPロスの子が沢山います。自分で卒業後どうしていいかわからない子が多いです。在籍中に精神も育ててあげると良いかもしれません。
- ・アーティスト科はなかなか就職という道は厳しいが、業界とのつながりの強い先生たちと、卒業後もつながりを持てることがありがたい。

大項目	V 学生支援		
自己評価に対する評価	適切…9/9		不適切…0/9
中項目	5-16. 就職等進路 5-17. 中途退学への対応 5-18. 学生相談 5-19. 学生生活 5-20. 保護者との連携 5-21. 卒業生・社会人		

ご意見

- ・卒業生に対しても支援体制が整っていることはすばらしいと思います。留学生の日本語能力に対して、対策を検討されており、ありがたく思います。
- ・保護者との連携について、多くは前期、後期等のケジメの際にコミュニケーションがとられるもので、充分な対応が出来ていると思える。個々での対応は問題が生じた際の対応の仕方にあるので、全体的には今のままで良いと思える。
- ・年々精神面で苦しむ方が少なくなっている印象。時代の流れとは良い意味で逆行。キャリアサポートセクションは各業界とのパイプ役として機能している。
- ・成績、学園通信を送っているのは良いと思いました。ある程度の日本語スキルのある留学生を入れているので、学内での会話は日本語に限定するのはどうか。
- ・緊急時の対応（地震等の災害）には保護者への直接連絡が入った方が良い。（携帯電話に直接）
- ・留学生の件で、中国人が孤立してしまう。→グローバル化にあたって英語が必要（必須）な気がします。
- ・卒業後も、学校とのつながりを持てるところがとても良い（デビューサポートセクション）。在校中にデビューにつながるような、たくさんのオーディションの紹介があると良いと思う。

大項目	VI 教育環境		
自己評価に対する評価	適切…9/9		不適切…0/9
中項目	6-22. 施設・設備等 6-23. 学外実習・インターンシップ等 6-24 防災・安全管理		

ご意見

- ・学生が最新設備に触れられるように生の現場を体験できるようにと、常に学生第一に考えられている様子が伝わりました。
- ・他校と比較し、充分な施設・設備。実店舗での現役リペアマンとのインターンシップも実

施している。

- ・卒業生にもっと施設利用をしてもらうように計らい、在校生との交流をもっとして欲しい。大型工具を使用できないスタッフが多い。
- ・生徒の海外研修は良いが、先生、職員の方も海外で研修された方が良いと思います。最新又は異国の教育現場を見て参加すると、考え方、教え方が変わると思います。
- ・スタジオが使えるのが良い（在校生）。スタジオのレンタル代はかなり金銭的負担があるので。

大項目	Ⅶ 学生の募集と受入れ		
自己評価に対する評価		適切…9/9	不適切…0/9
中項目	7-25. 学生募集活動 7-26. 入学選考 7-27. 学納金		

ご意見

- ・当校にも説明会や、サマーコースの学生に体験授業をさせていただいたり、感謝しております。募集活動も様々な形で行っている様に想像します。授業についていけるように、留学生に入学選考を行っているのは、先を考えるとありがたいと思います。
- ・今ではどこの機関もインターネット上での募集が主流。その充実をより図り、レベルの高い学生集めにつなげて欲しい。
- ・わかり易いパンフレット、全国進路説明会も長年実施されており、対象者や保護者が参加しやすい環境整備も進んでいる。
- ・現場の考え方ですが、若い世代（高校生以下）も教育してほしいです。
- ・留学生と知り合える機会が豊富にあり、とても良いことだと思う。他国の事も知るきっかけとなった。理系の大学と同じくらいの学費のため、高く感じるが、音楽系にはお金がかかるため、仕方がないか…とも思っています。

大項目	Ⅷ 財務		
自己評価に対する評価	適切…9/9		不適切…0/9
中項目	8-28. 財務基盤 8-29. 予算・収支計画 8-30. 監査 8-31. 財務情報の公開		

ご質問

- ・どの校舎が建替え、又は修繕が必要なのか具体的に
→ 5号館にセキュリティーシステムの新規導入。
9号館の外壁のタイルのひび割れ、要点検、修繕。
10号館の外壁のタイルのひび割れ、要点検、修繕。
各号館ロゴがミュージカルアカデミー時代のものがあるので、その変更。
他、古さが目立つ箇所の随時修繕。

大項目	IX 法令等の遵守		
自己評価に対する評価		適切…9/9	不適切…0/9
中項目	9-32. 関係法令、設置基準等の遵守 9-33. 個人情報保護 9-34. 学校評価 9-35. 教育所法の公開		

ご意見

- ・個人情報保護、スクールハラスメント等、絶対に疎かに出来ない新問題。常に対応の仕方に力を注いで欲しい。
- ・透明性が高く、整備されている印象を受ける。

大項目	X 社会貢献・地域貢献	
自己評価に対する評価	適切…9/9	不適切…0/9
中項目	10-36. 社会貢献・地域貢献 10-37. ボランティア活動	

ご意見

- ・得意分野で地域貢献を図られている様子が分かりました。
- ・小さなことで結構です。今まで同様に続けてください。
- ・近所の祭りへの参加は学生の評判にもつながるので、良いと思います。
- ・学校メンテナンスは、楽器店との協力でやった方が良い。
- ・小学校へ行き、子供たちとパプリカと一緒に踊ったり、「夢について」小学生の前で語るというボランティア？を学校から依頼されて行ったが、中々そういった機会もないので、良い経験だったと思う。

他ご意見（本委員会の進行に関して）

- ・2時間でしたが、途中で1度休憩を入れていただきたかったです。
- ・長時間になってしまいますが、項目ごとに質疑、又話し合えた方が良いのかと思いました。

総括

様々なご意見をいただきましたが、現段階では緊急で対処しなければならない重大な欠陥はないように見受けられ、差し当たって問題はないと認識しております。

しかし、現状良いと言っていたご意見について、継続すべきというご意見も多数あり、同じことの繰り返しではなく、何が学生にとってより良いかを常に考えるよう心がけたい。

また、業界関係者の皆様のご意見にはコミュニケーションや社会に出た後のためのマナーが重要であるとの貴重なご意見をいただき、今後開催される教育課程編成委員会でも議題に上げていきます。

さらに、学生が社会に出て、職業に就くことを考え、教育していかなければならないことを忘れてはならず、入学時からのモチベーションを如何に卒業後まで維持させることができるかについて取り組む必要性を感じました。

本校において、外部の方のご意見をいただく学校関係者評価委員会は初めての試みでありましたが、従来では得られなかった貴重なご意見を多数いただき、今後の運営、教育活動等にしっかりとフィードバックし、教職員一同で取り組んでいく所存です。

準備不足な点もあり、次回に向けてしっかりと改善してまいります。

以上



学校法人イーエスピー学園

ESPエンタテインメント東京

〒169-0075 東京都新宿区高田馬場3-3-19